

野々市町の景観にあった歩道の設計

目的

現在の野々市町の歩道は、様々な問題が存在し景観・美観を壊している。そこで野々市町の景観・美観を改善し、より良い街づくりをするために、『野々市町の景観に合った歩道の設計』を行う。

歩道の問題点

- ・凸凹がある
- ・歩道の幅が狭い
- ・緑が少ない
- ・水はけが悪い
- ・景観が悪い
- ・ゴミが多い



改善



水はけの良い歩道

格をとり入れたタイル

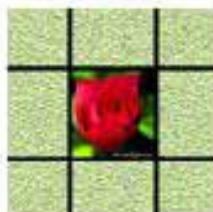
3層構造

- 1層目 瓦再生コンクリート舗装材・カラー排水性舗装→透水性
- 2層目 木材チップ→クッション性
- 3層目 排水パイプ→側溝に水を排水



カラー排水性舗装

格の模様を描くため、カラー排水性舗装材を使用する。



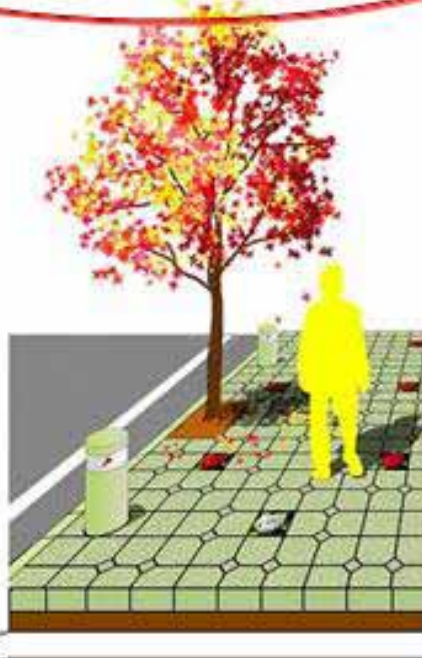
排水パイプ

タイル1枚あたり2つの排水パイプを設置する事で普通の降水量では問題なく、効率よく排水される。



瓦再生コンクリート舗装材

瓦廃材がコンクリート二次製品に有効活用され最大80%まで代替使用を可能とすることから自然にもやさしく透水性もある。



木材チップ

弾力性に優れているため歩行やジョギングの際に、膝や腰に負担がかかりにくく高齢者や幼児にも優しい。また、排水性にも優れている。

結論

これらの一連した設計より野々市町の景観を壊さず、顧客の要望を満たし歩行者の安全性を高めることができた。美しい町並みにもすることができることから地域の活性化を促すことができる。これらの点から、この設計プロジェクトが社会に貢献することができるといえる。

金沢工業大学
2004年度 工学及びエ
ア環境学系：野々市町の景観に合った
歩道の設計
プロジェクト名：AP11
チーム番号：5
チーム名：吉田 蓮花 小島 悠希
古原 祥典 津本 司 白鳥 祥輝
チームリーダー：市川 千穂
担当教員名：古川 智雄 伊丸 昌彦